

非稼働病床の現況について（泉州二次医療圏）

※過去 1 年間一度も稼働していない病床を有する病院または過去
1 年間病床が一度も稼働していない有床診療所（非稼働病床という）

	医療機関名	所在市区	非稼働病床の状況			計画		
			病床数	非稼働に なった時期	稼働できない理由	計画内容	達成時期	計画の詳細
1	泉大津市立病院 （令和6年12月1日～泉大津市立周 産期小児医療センター）	泉大津市	54床	令和 5 年度	府中病院との再編・統合を進めており、当院 については令和6年12月から周産期に特化 した医療機関となる。現在それに向け、病棟 の改修工事を行っており非稼働病床が発生し ているため。	病棟を削減する又 は無床診療所とす る。	未定	府中病院との再編・統合が終了後、当院の許可 病床数を変更する予定である。
2	清水レディースクリニック	泉大津市	1床	平成 13 年度	母体保護法指定医の申請に必要であるため。	指定医療機関とし て必要であるた め、現状の運用通 りとし、他の目的 で使用しない。		変更なし
3	医療法人和泉会 和泉丘病院	和泉市	4床	平成 元年度	法改正等により 精神科の詰所と一般内科の 詰所を別にしなければならなくなったため。	再稼働する。	未定	再稼働することを目指しているが、その方法・ 方針については検討中である。
4	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター	和泉市	12床	平成 26 年度	平成26年4月1日 新棟建設に併せ、狭隘化改善のため本館旧 ICUを休止したため。	その他		引続き、新センター整備に関し大阪府と協議す る。
5	医療法人良秀会 高石藤井病院	高石市	53床	令和 3 年度	新型コロナ患者受け入れの為、休床等病棟再 編を行った。看護師の配置に無駄が生じない ように、他施設への異動、他病棟への異動を 行った。新型コロナ患者受け入れが終了した 現在、以前の看護師数の確保に至っておら ず、再稼働できていない状態となっているた め。	再稼働する。	未定	看護師が確保できれば、速やかに再稼働を行う 予定である。
6	高石市立診療センター	高石市	16床	平成 15 年度	開設来、外来診療から開始し、市内医療機関 との調整の上、入院ニーズに応えるため、病 床を保持してきたが、外来患者の増加が困難 であった。赤字体質の改善が必要となり、診 療科の集約化により、人員を削減したため、 入院対応ができていないため。	病棟を削減する又 は無床診療所とす る。	未定	非稼働中である病床（16床）については、今 後、削減に向け、市・財団において検討を行い 必要な手続き（保健医療審議会、条例改正、第 9期介護保険事業計画策定等）を経て方針を決 定する予定である。
7	八木レディースクリニック	泉北郡忠岡町	1床	平成 18 年度	母体保護法の施設基準で、病床の確保が必要 であるため。	指定医療機関とし て必要であるた め、現状の運用通 りとし、他の目的 で使用しない。		母体保護法の指定を継続するため現状を維持す る。

	医療機関名	所在市区	非稼働病床の状況			計画		
			病床数	非稼働になった時期	稼働できない理由	計画内容	達成時期	計画の詳細
8	医療法人 清名台外科	貝塚市	13床	平成 30 年度	夜間勤務可能な看護師の確保が困難であるため。当直医師の確保が困難であるため。	病棟を削減する又は無床診療所とする。	未定	現在肛門疾患の日帰り手術用としてのみ、週に3日、一日2名まで、年間約200名ほどの入院で使用している。可能であれば現状のまま使用していきたいと考えているが、無理であれば無床化して外来手術とせざるを得ないと考えらる。入院治療が必要な保険にご加入の患者様にとっては、当院のような有床診療所はまだ多くの方に必要とされている。当直可能な看護師、医師の確保はほぼ不可能。以前はほとんどの日を2人の医師で当直していたが、現在一人医師となりそれも困難な状況。有床診療所では入院患者数も限られており人件費の面からも非稼働病床の再稼働は困難な状況である。
9	医療法人聖愛会 聖愛クリニック	泉佐野市	1床	平成 11 年度	現在のところ、患者が自宅での終末期医療を希望されており、今後、患者が当院での終末期医療を希望された時に備えているため。	その他		今後、在宅療養中の患者が、終末期を迎え自宅での療養が困難になり、病院への転院や施設への入所を希望せず、患者と家族が緩和医療を続けながら過ごすことを希望されれば稼働する予定である。看取りを行う上で当院が在宅医療を続けていく期間中は、病床を継続して存続させていく予定である。
10	和泉南病院	泉南市	48床	令和 4 年度	現状の看護師及び看護補助者の当直体制（従事者数）では、2病棟までしか稼働することができないため（入院患者における医療法上の定員は充足している）。	再稼働する。	未定	現在当直のできる医療従事者を積極採用し人員の確保を進め、看護師はかなり充足してきたが、看護補助者の確保が大変厳しい状況である。現時点では、3病棟分の当直体制を確保するまで時間を要すると考えている。よって、達成時期は未定とした。今後も、医療従事者の確保に努め、できる限り速やかに非稼働病棟を再稼働させる。
11	医療法人きらめき会 ながまつレディースクリニック	阪南市	13床	令和 2 年度	医師、看護師不足により分娩を中止したため。病棟再開に向け模索しているが、休止状態を継続中である。	その他		病棟の再稼働を検討しているが時間の経過とともに難しくなりつつある。働き方改革もあり、具体的な方針が定まらない状況である。